

オーケストラ・プライベート・エクイティ、投資先のKFC Koreaを通じて、 タコベルの韓国マスターフランチャイズ契約を締結

Yum! Brandsのひとつであるタコベルの韓国国内店舗の展開および運営権を確保

2025年 3月 27日

オーケストラ・プライベート・エクイティ(以下「オーケストラ」)のポートフォリオ企業であるKFCコリアは、タコベルのグローバルオーナーであるYum! Brands(以下「Yum」)と、韓国国内におけるタコベルのマスターフランチャイズ契約を締結しました。

本契約により、KFCコリアは韓国市場におけるタコベルブランドの店舗開発および運営に関する権限を取得し、既存の運営事業者と共存する形で、複数フランチャイズ体制へと移行することとなります。特に、KFCコリアは既存事業者との契約満了後には、韓国国内におけるタコベルブランドの独占運営権を有することとなり、今後はオーケストラとの協力体制のもと、ブランド展開を本格化させる方針です。

さらに、6店舗目の直営店が開業した段階でサブフランチャイズ(加盟店展開)が可能となる見込みであり、早ければ来年末からフランチャイズ拡大に向けた取り組みを本格化させる予定です。

タコベルは、世界的なメキシカンQSR(クイック・サービス・レストラン)ブランドであり、2014年に1号店をオープンして以降、現在は国内で9店舗を展開しています。近年、韓国国内においてメキシカンフードに対する消費者の関心が高まる中、KFCコリアは、既存のQSR事業で培ったノウハウを生かし、オーケストラおよびYumとの戦略的パートナーシップを通じて、タコベルブランドの韓国市場における成長を加速させる計画です。

KFCコリアの代表取締役であるシン・ホサン氏は、「メキシコ料理市場が拡大を続ける今こそ、タコベルならではの差別化されたメニューを韓国の消費者に紹介する最適なタイミングです」と述べた上で、「オーケストラによるKFCの買収からわずか2年で大きな成長を遂げたように、タコベルもまた戦略的パートナーシップを基盤に、着実な成長を目指していきたい」と語りました。

また、KFCコリアのタコベル事業部ゼネラル・マネージャーであるハン・ジョンズ氏は、「KFCは、オーケストラおよびYumとの密接な協力関係を通じて、実績ある成果を上げてきました」とし、「今後もこの協業体制を強化しながら、タコベルブランドのビジョン実現に向けた取り組みを進めてまいります」と述べました。

オーケストラ・プライベート・エクイティ 概要

オーケストラ・プライベート・エクイティは東アジアに基盤を置き、中堅・中小企業を対象にクロスボーダーを含む投資を行い、「グローバル・チャンピオン」への成長を支援するプライベート・エクイティ・ファンドです。シンガポールの拠点を通じて、主に日本と韓国に投資しており、投資先の価値の源泉を理解し、中長期的な企業価値創造に必要な知見・経験を適用します。また、投資先の経営陣と密に連携し、単体での成長および更なる地域拡大はもちろんのこと、強い経営陣の構築や経営基盤の強化、国内外における追加買収を通じたさらなる企業価値向上のお手伝いをいたします。詳細は www.orchestraprivateequity.com をご覧ください。このプレスリリースに関する問い合わせは information@orchestraprivateequity.com までご連絡ください。

KFC コリア 概要

KFC コリアは1984年に韓国市場に進出したグローバルチキン/バーガーフランチャイズ企業です。世界最高のチキン/バーガーの専門家として最も美味しい料理を提供するという情熱で、全国200以上の店舗で毎日

新鮮な商品をお客様に提供しています。詳細は www.kfckorea.com でご確認ください。

タコベル 概要

タコベルは米国に本社を置くグローバルメキシカンクイックサービスレストランブランドで、Yum! Brands傘下の中核ブランドの一つです。クリエイティブなメキシカンメニューと個性的なブランド感性でタコス、ブリトー、ケサディーヤなど様々なメニューを提供しています。